



## 『夕飯は家族で食べよう』が合言葉

働き方改革の取組の一つとして、時間外労働の削減にも着手した。2020年以前は23時であった施錠時間を段階的に早め、2023年からは18時に定めたほか、スマートフォンによる勤怠管理を導入し、個人別勤務時間の見える化を進めてきた。



名刺の裏面に印刷されたスローガン

2024年からは、『夕飯は家族で食べよう』をスローガンとして所定外労働の削減を進めており、2022年に社内平均月30時間あった時間外労働が2024年には18時間程度まで削減している。更に5年かけて10時間以下を目標とする。

現在は約半数の従業員が家族と夕飯を食べているという。

## 5Sの浸透

社長就任当時は作業場が煩雑で整理されていない状況であった。生産性を上げるには5S活動の浸透が必要と考え、今では毎週金曜日を5S活動の日とし、整理整頓に心掛けている。

さらに現在ではSafety（安全）と作法の2Sを加え、7S活動を推進している。



5S活動

## DXによる生産性の向上

建設業におけるICT (Information and Communications Technology：情報通信技術) を活用し3次元設計データの内製化を進めた。ドローン、地上波レーザースキャナー、全地球航法衛星システム等を駆使し、3D設計データを自社にて作成している。作成した3D設計データを建設重機にインストールすることで設計どおりの施工が実現できている。その結果、2週間かかっていた測量作業が半日で終了するなど、作業時間の大幅な短縮につながっている。

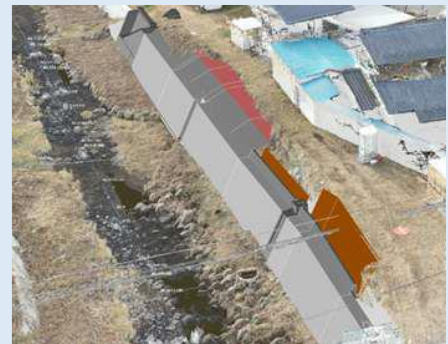
その他、クラウドの活用による各種書類のデジタル化・共有化も進めており、DXによる生産性向上が図られている。



レーザースキャナーによる計測



計測結果のデータ加工



得られた点群から3D設計データを作成

その一方で、ICT活用による従業員の測量技術低下が懸念され、従来からの測量技術をいかに継承してゆくかが新しい課題になっているという。

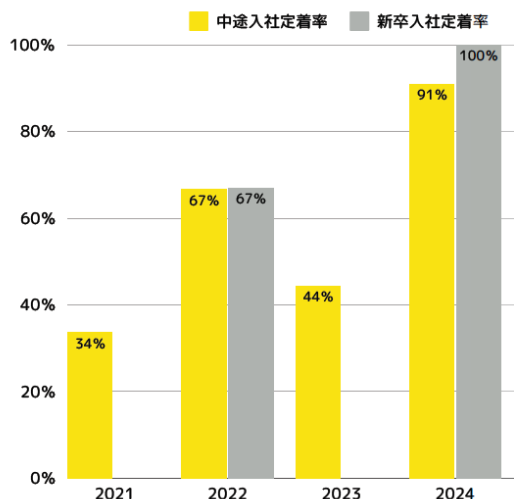
## 目指せプロ集団！

5年かけてプロを目指すことを目標に掲げ、資格を取得した従業員の名前を公表する等、業務に必要な数多い資格取得の促進を実施している。



社内スローガン

## 社員定着率の大幅な向上



こうした各種取組の結果、社員の定着率は大幅に向上し、2024年の定着率は90%を超えることとなった。

また、2021年12月の時点で53.6歳であった社員の平均年齢は2024年12月には44.7歳となっている。

## 今後進めたいこと

今後の目標については、長野県の認証制度である、「職場いきいきアドバンスカンパニー」のアドバンスプラス認定や、厚生労働省のユースエール認定（若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度）の取得を目指すなど、さらなる向上を目指している。

訪問日	令和7年3月17日（月）	
面談者	株式会社小池組 代表取締役 専務取締役 常務取締役 総務部 部長	小池 毅夫 廉澤 忠雄 小池 久美 小池 奈津恵
訪問者	長野労働局 雇用環境・均等室 室長 雇用環境改善・均等推進監理官 雇用環境・均等室長補佐 働き方・休み方改善コンサルタント	山村 千華 二神 充 滝沢 清和 平野 正樹

小池社長の明るさとリーダーシップが会社の良い環境を作っていると感じました  
\*\*\*株式会社小池組の皆さま、ありがとうございました\*\*\*



後列 二神監理官 滝沢室長補佐  
前列 山村室長 小池常務取締役 小池代表取締役 廉澤専務取締役